



| | |
|---------------|-------|
| インターネットでの情報提供 | |
| 提供予定日 | 7月27日 |

| | | | |
|---------------------------|-----------|------|--------------------------|
| 平成23年7月26日(火) 県政記者クラブ配付資料 | | | |
| 担当課 | 担当 | 担当者 | 電話番号 |
| 地域振興課 | まちづくり支援担当 | 宮崎良一 | 直通058-272-8079 内線2436 |

「地域の助っ人サミット」の開催

県では、県内過疎地域への支援として、集落支援や地域の活性化に取り組む「地域がんばり隊員」を、NPO法人等を通じて雇用して県内6地域へ派遣しており、現在10名の隊員が活動しています。

この「地域がんばり隊員」の他、「地域おこし協力隊員」、「集落支援員」など国や市町村独自の制度により県内過疎地域等で地域の活性化に取り組む人材が一堂に会し、活動発表報告や意見交換を行う「地域の助っ人サミット」(過疎地域支援意見交換会)を下記のとおり開催します。

このサミットは、他地域出身者が多い隊員が各地域で支援活動を行っていく上では、人的ネットワークづくりや情報交換が必要なことから、各隊員の日常活動に関する発表などにより隊員間の交流を深め、各自の活動の参考にしていただくことを目的としています。

また、「地域がんばり隊」活動のスタートとなった、昨年度の「過疎地域支援大学連携モデル事業」に関わっていただいた鈴木誠愛知大学地域政策学部教授のコーディネートにより、今後の過疎地域支援や隊員受入地域のあり方についての意見交換会も行います。

なお、このサミットは昨年12月に郡上市で初めて開催し、今回は2回目となります。

記

○日 時 8月2日(火) 13時30分～16時00分

○場 所 ヤッサンカン
「八ツ三館」

(飛騨市古川町向町1-8-27) TEL 0577-73-2121

※創業は安政年間で150年余の歴史を有する、国登録有形文化財に指定されている飛騨古川の旅館

○内 容 1) 県の過疎地域の支援状況の情報提供
2) 各隊員の活動の紹介
3) 意見交換会(コーディネーター 愛知大学地域政策学部 鈴木誠教授)

○出席者 ・過疎地域で地域づくり活動に携わる「地域がんばり隊員」など 40名(詳細は別紙参照)
70名 ・上記活動地域の市町職員 20名程度
(予定) ・隊員受入NPO法人等関係団体 10名程度

<参考>

■「地域がんばり隊員」について

○「過疎地域支援大学連携モデル事業」（平成 22 年度）

- ・岐阜経済大学が、集落維持や地域活性化の支援を行う人材を「地域がんばり隊員」として雇用する委託事業を、県内 2 地域（郡上市、飛騨市）をモデルとして実施。
- ・派遣した「地域がんばり隊員」の活動状況を同大学が調査・分析し県に報告。

（委託先：岐阜経済大学
委託額：4,644,308円
隊員数：2名
活動地域：郡上市明宝地域 1名、飛騨市地域 1名
活動期間：H22.7.6～H23.3.31）

○「過疎地域集落活性化支援モデル事業」（平成 23 年度）

- ・平成 22 年度の「過疎地域支援大学連携モデル事業」のノウハウを活用し、地域づくりを実践する NPO 法人等が、集落維持や地域活性化の支援を行う人材を「地域がんばり隊員」として雇用する委託事業を、県内 6 地域をモデルに実施。

（委託先：6 事業者（NPO 法人 5 団体、民間企業 1 社）
委託額：合計 47,433,624円
隊員数：合計 10 名
活動地域：高山市上宝地域等 2 名、関市武芸川町地域 1 名
関市洞戸地域 2 名、恵那市上矢作地域 1 名
飛騨市神岡町地域 2 名、揖斐川町久瀬地域 2 名
活動期間：H23.6.1～H24.3.31）

○県下各地での事業の推進

- ・郡上市では、平成 22 年度の「過疎地域支援大学連携モデル事業」の活動実績を受け、本年度から過疎対策事業債を活用した市独自の「地域おこし応援隊」を配置しており、昨年度の県の「地域がんばり隊員」もその一員として引き続き採用されている。
- ・こうした郡上市のケースなど、今後も今年度のモデル事業の実績等を参考に、より多くの市町村による「地域がんばり隊」の活動が進展するよう働きかけていく。